

生計同一関係に関する申立書

生計同一関係にあったことの申立

申立年月日：令和 X 年 X 月 X 日 ※ この申立書の記入日を記載してください。

私と下記②の者は、下記②の者が亡くなった当時、生計を同じくしていました。

① 請求される方の住所、氏名

住所 さいたま市 大宮区 △△町 1-2-3氏名 年金 太郎

② 亡くなった方（被保険者、被保険者であった方）の住所（亡くなった当時）、氏名

住所 さいたま市 北区 ○○町 1-2-3氏名 年金 花子 (①との続柄： 母)

上記①・②の方の状況に応じて、次の1～3のいずれか1つに○を付した上で、必要事項を記載してください。

1. ①と②は、住民票上は別世帯でしたが、住民票上の住所は同一でした。
【住民票上、別世帯となっていた理由を以下に記載してください。】

2. ①と②は、住民票上は別住所でしたが、実際は同居していました。
【住民票上、別世帯（別住所）となっていた理由を以下に記載してください。】

3. ①と②は、別居していました。また、住民票上も別住所でした。

(1) 別居していた理由を以下に記載してください。

・婚姻のため。

・施設（老人ホームまたはそれに準ずる施設・病院）入所のため。 など

注）病院または施設の領収書を第三者証明の代わりに提出する場合は

別居の理由を「入院のため」または「施設入所のため」としてください。

(2) 経済的援助の状況について、以下に記載してください。

②（亡くなった方）から①（請求される方）に対する経済的援助（あり・なし）

経済的援助の回数（年・月 約 回程度）

経済的援助の内容

衣料・食事・住宅・交通・介護用品等の現物（もの）による援助も含まれます。

◎ 上記の経済的援助が「なし」の場合は、以下に記載してください。

①（請求される方）から②（亡くなった方）に対する経済的援助（あり・なし）

経済的援助の回数（年・月 約 1 回程度）

経済的援助の内容 ・（口座振込・送金・手渡し）で毎月〇万円ほど渡していた。

・入院費・施設費などを月〇万円程度負担していた。

・必要に応じて、現金以外で援助していた。（食料品や衣類の差し入れ）

など

(3) 音信・訪問の状況について、以下の㊦～㊨に記載してください。

㊦ 音信の手段（訪問・電話・メール・その他：）

㊧ 訪問回数（年・月・週：約 2～3 回程度）

㊨ 音信・訪問の内容

・月に2～3回くらい電話をかけて、健康状態や近況の確認をしていた。

・定期的に面会に来て、身の回りの世話をしていた。 など

第三者による証明欄

※ 上記1に○をされた場合（住民票上は別世帯だが、住民票上の住所は同一である場合）または生計同一関係証明書類を提出している場合は記入不要です。

上記の事実に相違ないことを証明します。

また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

証明年月日：令和 X 年 X 月 X 日 ※ 表面の申立日（記入日）以後に証明してください。

住所 上尾市 ◇◇町 1 - 2

氏名 上尾 太郎

電話番号 048 - ◇◇◇◇ - ◇◇◇◇

※ 法人（会社、病院、施設等）・個人商店として証明する場合は、所在地・名称及び証明者の役職名と氏名を記入してください。

日本年金機構理事長 様

例) 社会福祉法人 ○△園 職員 大宮 花子